



SANO NIHON DAIGAKU
SECONDARY SCHOOL

[広報]

わかざくら

W A K A Z A K U R A

vol.36

2017.4.28



笑顔で迎える（入学式）

目次

入学式	P2
始業式・新任式・対面式	P4
新入生研修・輝く仲間たち	P5
平成28年度 修了式 各賞受賞者	P6
平成28年度 合格状況	P8

佐野日本大学中等教育学校

栃木県佐野市石塚町2555 ☎ 0283-25-0111(代)
<http://ss.sanonihon-u-h.ed.jp/>

「自主創造」の精神で世界に羽ばたく人間に



佐野日本大学学園理事長・学園長

浦田 奨

新しい生命の息吹が感じられる今日の佳日、平成29年度入学式の挙行にあたり、多くの来賓の皆様のご臨席を賜り衷心より感謝申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。学校生活への決意を新たにされる大切な日にあたって、皆さんに心掛けてほしいことをお話しします。

グローバル化の進展とAI技術の発達には私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。近い未来、国境を越えた人材交流やAI・ロボットの代替により、日本でも現在ある職業の4割程度が消滅するとも言われます。これまで想像もできなかった社会の到来が目前に迫っているのです。この状況は、幕末期と多くの共通点があるように思えます。当時も時代の大転換期で、幕藩体制の弱体化や西洋列強の圧力など、大きな危機に直面していました。その時、命を懸け近代化に向け行動したのが「幕末の志士」と呼ばれる若者たちで、彼らの多くは明治維新の精神的支柱、吉田松陰先生の「松下村塾」で学びました。日本大学の学祖、山田顕義

先生もその一人です。

日本大学の教育理念「自主創造」はその時代と実践に淵源があり、「自ら」の人生を自ら切りひらく姿勢を意味します。これは、現代を生きる私たちにとって貴重な精神と言えます。昨年度制定された「日本大学教育憲章」では、「自主創造」の「三つの構成要素」が示されました。それは「自ら学ぶ」という、豊かな知識・教養に基づく高い倫理観、世界の現状を理解し説明する力。「自ら考える」という、論理的・批判的思考力、問題発見・解決力。「自ら道をひらく」という、挑戦力、コミュニケーション力、リーダーシップ・協働力、省察力、の三点です。どれもが時代を生き抜くための大きな力となるものです。

新入生の皆さん、本校の校訓でもある「自主創造」の理念を掲げ、懸命に努力してください。たゆまぬ努力を重ねた皆さんが、この佐野から世界に羽ばたく人材に成長することを期待し、お祝いの言葉といたします。

「プライド」を胸に



佐野日本大学中等教育学校校長

小倉 宏明

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、これからの6年間心身に大きく成長します。そこで、本校入学に際し、6年間本校で過ごす上での心構えをお話します。

まず、日本大学と、私たちの学園の「建学の精神」をお伝えします。共通する精神は「自主創造」と「国際性」です。「自主創造」とは、「自分で考え、自ら判断・行動し、独自の新しいものを作ってほしい」というものです。「国際性」とは、これから学ぶ英語の力をつけ、世界の歴史・文化を勉強し、国際的な視野に立って、世界で活躍できる人間になってほしいというものです。

本校では、「自主性」を育てるために、6ケ年に渡る様々な体験の場を設け、ICTも導入し積極的な授業を展開しています。また「国際性」を育てるために、語学力の向上はもちろん、資格試験の積極的受験、海外4か国の姉妹校とも活発に交流しています。その体制は、フランスのユネスコ本部から、この3月、中等教育学校（高校を含む）としては栃木県内初の「ユネスコスクール」に認定されました。皆さんの先輩では、学習面で日本一になり、世界で活躍している人がたくさん

います。先輩方に続いて、是非将来世界で羽ばたく人間になってください。

本校の教育目標は、「磨こう心、輝く知性、拓こう未来」です。この他に、行動に「責任」を持つこと、日々「努力」をすることを大切にしています。この中の鍵となる言葉「人柄」「知性」「開拓」「責任」「努力」を英語で表し、頭文字を並べ替えるとプライド(PRIIDE)という言葉になります。この五つの言葉を胸に刻み、常に佐野日本大学中等教育学校の一員であるという「プライド」をもって生活してください。

最近の若者は、目標や気力がなく、人の痛みが分からないとも言われます。それは実体験が少ないからです。本校では6年間の中で林間学校、国内・国外研修、社会見学、奉仕活動等の体験学習を実施しています。実際体験してみると、できないと思っていた事ができたりします。できると自信がつき、その小さな自信が、やがては大きな成功に結び付きます。実際体験すると、失敗や苦しい思いもします。しかし、失敗は新たなやる気に、苦しい経験は人に優しさを与えます。6年間是非いろいろなことに「挑戦」してください。

新たな出会い

— 新入生を迎えて —

4月5日(水)、第8回佐野日本大学中等教育学校入学式が盛大に挙行された。

不安と期待の入り混じった表情の新入生たちを、保護者の方々や在校生らが見守る中、日本大学校歌の演奏とともに校旗が入場し、開式の運びとなった。

小倉宏明校長より入学が許可された新入生88名は、校長からの励ましの言葉に緊張もほぐれてきた。日本大学より大塚吉兵衛学長のご名代として、学長代理・副学長山本寛理工学部長よりご祝辞を頂戴した。また、ご来賓の方々からも温かなお祝いの言葉をいただいた。



▲ 校長式辞

新たな新生活への門出の日を迎えた新入生たちは、6年間を共に過ごす仲間たちとともに、これからの生活への期待に胸を膨らませていた。それぞれの進路を実現するために、一日一日の生活を充実させ、有意義な学校生活を送ることを期待したい。



▲ 新入生誓いの言葉

新入生を代表して澤井優実さん(1年・栃木・大平西小)がウォルト・ディズニーの言葉を英語で引用し、自分を信じて行動することの大切さを述べ、今後の生活への決意を力強く誓った。また、生徒会長の池田野晏さん(5年・桐生・西小)が在校生を代表し、温かな歓迎の言葉を述べた。

誓いの言葉

新入生代表 澤井優実

暖かな春の日差しに包まれ、今日、私たちは、佐野日本大学中等教育学校の入学式を迎えることができました。本日は、このような盛大な入学式を催して頂き、誠にありがとうございます。

思い起こせば、不安と、それ以上の希望を胸に抱きながら挑んだ受験では、家族や小学校の先生をはじめとする、多くの方々に支えられ、頑張ることができました。真新しい制服に袖を通し、晴れて、本校に入学することができた今日の喜びは、忘れられないものとなりました。

小学校の友達と離れることは、さみしくもあります。今の私は、同じ志を持った新しいたくさん仲間と、この学校でしか経験できない充実した日々を過ごすことに、希望と期待で胸をふくらませていきます。この素晴らしい環境を存分に生かして、勉強だけでなく、部活動や海外フィールドワークなどに積極

的に取り組み、有意義な6年間にしたいと思っています。

佐野日本大学中等教育学校に合格してから、私は他の中学生とは違い、6年間一貫の学校の生徒になるという意識も芽生え、様々なことに興味や関心を抱くようになりました。

新聞やテレビは、国内外を問わず、様々なニュースを報じています。先月は、私たちが小学校入学の直前に起きた、東日本大震災から6年がたち、被災した地域の復興の様子が報道されていました。私たちは、まだ多くを知らない未熟な立場ですが、日々変化する世の中に興味を持ち、日本を、そして世界を考え、行動できるようになりたいと思っています。

ミッキーマウスの生みの親であるウォルト・ディズニーは、「正直に自分の無知を認めることが大切だ。そうすれば、必ず熱心に教えてくれる人が現れる。」と言っています。まだの入り口に差しか

かったところの私たちにはわからないことも多く、悩み、とまどうことばかりですが、先生方からご指導いただき、積極的に学びたいと思います。また、失敗を繰り返しながらも、あきらめず夢を追い続けたディズニーは、次の言葉も残しています。

「新しいプロジェクトをひとたびやると決めたら、とことん信じ込むんだ。うまくやる能力があると信じるんだ。そして、これ以上はできないという最高の仕事をするんだ。」

自ら佐野日本大学中等教育学校で学ぶことを選択した私たちは、今までのような受け身の学習や生活態度ではなく、自主性をもって行動し、困難にも立ち向かう努力をしなければなりません。今日から始まる6年間に有意義なものにするために、一步一步、歩んでいくつもりです。

私たち新入生一同は、校長先生をはじめ、諸先生方、先輩方、そしてご来賓の方々の前で、佐野日本中等教育学校の生徒としての自覚をもち、学校の名に恥じないように努力することを誓い、新入生代表のあいさつといたします。

平成29年度 始業式・新任式・対面式

4月6日(木)、平成29年度のスタートとなる始業式・新任式・対面式が行われた。

始業式は、本年度より校長に就任した小倉宏明校長が式辞を述べた。小倉校長は、「自分の行動に責任を持つこと、日々努力を怠らないことも大切だ」とし、本校生としてPRIDEをもって生活してほしいと話した。このPRIDE



Eとは人柄・責任・知性・開発／夢・努力を表す英語の頭文字をとったものである。このPRIDEを胸に成長してほしいとのお話であった。



続いて新任式が行われ、今年度から本校に赴任した教職員が紹介された。校長より一人ひとりの紹介があった後、生徒会副会長の樋口文菜さん(3年・足利・北郷小)が歓迎の言葉を述べた。

新入生と在校生全員が初めて顔を合わせた対面式では、互いに向かい合う形で整列し、新入生を代表して田中菜々さん(1年・佐野・山形小)が誓いの言葉を述べた。『赤毛のアン』に綴られた言葉を引用し、新しい生活に対する

不安と期待を話し、自分から積極的にチャレンジするとうい決意を力強く述べた。また、在校生を代表して生徒会副議長の山中南乃さん(2年・高崎・新町第一小)が歓迎の言葉を述べた。

新入生は、初めて全生徒が一堂に会する様子を目にし、6年間を通して自分が成長していくさまを思い、夢を描いていた。

生徒たちは新年度のスタートにあたり、新たな仲間や教職員との生活への期待に目を輝かせていた。進路実現に向け、今後の生活にしっかりと取り組もうとする意欲が感じられた。



退任教職員

- 堀込 紀行 先生(地歴・公民)
- 川辺 和則 先生(地歴・公民)
- 橋本 洋記 先生(数学)
- 下田 啓太 先生(理科)
- 川野辺重俊 先生(理科)
- 後藤 勝 先生(保健体育)
- 小倉 仁子 先生(技術・家庭)
- 萩原 悦子 先生(英語)
- 細井 健 先生(英語)

新任教職員

- 林 晃平 先生(社会)
- 宮下 智紀 先生(数学)
- 篠崎 展男 先生(理科)
- 小橋 有子 先生(理科)
- 岡本 博美 先生(技術・家庭)
- 大橋 優生 先生(英語)
- 岡村 京子 先生(英語)
- 麦倉 洋一 職員
- 竹村 一夫 職員

佐野日本大学学園異動

- 【中等教育学校↓高等学校】
- 渡邊 明男 校長
- 岸 由美子 先生(理科)
- 木村 順子 先生(理科)
- 【高等学校↓中等教育学校】
- 小倉 宏明 校長
- 立川万莉也 先生(地歴・公民)
- 阿部 沙紀 先生(理科)
- 細田 晃良 先生(保健体育)

中等教育学校おもな分掌		中等教育学校 新担任					
校長	小倉 宏明	1年	2年	3年	4年	5年	6年
教頭	船渡川重幸	雨宮 千恵	和田 茂樹	長島 正志	松岡 洋平	半田 宗	八下田久美子
副教頭	大澤 克至	雨宮 千恵	和田 茂樹	中前 学	松岡 洋平	半田 宗	八下田久美子
ファーストステージ主事	柏倉 豊	1組	雨宮 千恵	和田 茂樹	宮下 智紀	丹野 隆史	君島 淳
セカンドステージ主事	中井 啓之	2組	大橋 優生	大久保あゆみ	境 俊哉	中島 史子	山内 貴光
入試・広報室主事	菊地 秀明	3組	長谷川さおり	今泉 詠吉	平川 峻一		
高校・中等事務長	加藤 昌	4組					

新入生研修

新入生の研修が、4月7日（金）に校内で、10日（月）～12日（水）には群馬県利根郡水上町で行われた。
これらの研修は、新入生の学校生活を円滑にスタートさせるために実施されているものである。また、宿泊研修は、集団行動で守るべきルールを身に付けるとともに、校内研修で学んだことを実践し、活用してみる場となっている。

校内研修では、まず話の聞き方と自己紹介を行い、他者



▲ 部活動紹介（ディベート部）

ユネスコスクール認定式

3月18日（土）、浦田奨理事長を始め、岡部正英、佐野市長、岩上日出男、佐野市教育長、熊倉勝佐野ユネスコ協会会長、高尾初江文部科学省日本ユネスコ国内委員会委員、林明夫開倫ユネスコ協会会長のご臨席を賜り、ユネスコスクール認定式が執り行われた。



である。ユネスコスクール・ネットワークの活用による世界中の学校との交流を通じ、情報や体験を分かち合い、地球規模の諸問題に対処できるような若者を育成することを目的としている。

ユネスコスクールとは、ユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校

部活動紹介では先輩たちが、実際に活動する様子を見て、どの部活動に加入しようかと心を躍らせる姿もあった。

宿泊研修では、新たな学校生活への心構えやこれまでの生活・学習習慣の見直しを行い、主要3教科の学習についてのガイダンスや魅力などを学び、授業に取り組んだ。



▲ 正負の計算に取り組む

本校では手帳を利用して計画を立てて生活する指導を行っているが、その手帳の活用の仕方や、集団生活での時間の使い方について学んだ。新入生たちはこれらの研修を通して、クラスメイトとの絆を深め、新たな生活への意欲をさらに高めることができた。

輝く仲間たち

英語検定上位級合格!

平成28年度第3回実用英語検定において、次の生徒が上位級に見事合格した。

準1級

金井 柚羽（2年下野国分寺西小）



横田菜々子（4年・足利・山辺小）



榎本 祐花（6年久喜久喜北小）



数学検定上位級合格!!

第301回実用数学検定において、次の生徒が準1級に見事合格した。

大木 颯斗（4年・佐野・犬伏小）



美術

第47回下野教育美術展

絵画の部

銀賞

小川 穂高（4年・館林・第六小）

銅賞

朝日 陽星（2年久野久野南小）

本庄 一冴（3年・玉川学園小学部）

高瀬 萌実（4年・小山・小山城北小）

書道同好会

今年度も多くの生徒の素晴らしい挑戦を期待し、その力を国際理解に役立ててほしい。

公益財団法人日本武道館主催の第53回全日本書初め大覧覧会で、山崎麗来さん（5年・佐野・船津川小）が特賞、石川仁望さん（2年・栃木・大平西小）が佳作に輝いた。

平成二十八年年度
修了式
各賞受賞者

佐野市長賞

柳川 由衣 (佐野・植野小)



セカンドステージ最優秀賞

平澤 一華 (4・筑西・川島小)



ファーストステージ最優秀賞

亀田英太郎 (2・佐野・田沼小)



セカンドステージ優秀賞

阿部 聖天 (4・佐野・三好小)



堀 優夏 (4・栃木・栃木第五小)



ファーストステージ優秀賞

藤生佳奈子 (2・まなま園学舎マナナ幼稚園)



田畑 諒 (2・足利・三重小)



山本 健太 (2・館林・第一小)



三か年皆勤賞

- 小川 穂高 (館林・第六小)
- 柗淵 真優 (足利・青葉小)
- 樋口 文菜 (足利・北郷小)
- 川田 尚生 (佐野・田沼小)
- 大澤 由佳 (上三川・明治小)
- 鹿村 仁菜 (佐野・吉水小)
- 柳川 由衣
- 青木 翔星 (栃木・栃木第三小)
- 今泉 康平 (足利・御厨小)
- 田中 銀河 (小山・小山城東小)
- 遠藤 樺乃 (羽生・羽生南小)

三か年精勤賞

- 石井波哉斗 (太田・休泊小)
- 大川 俊輔 (佐野・佐野小)
- 大倉 怜真 (太田・葺川西小)
- 小暮ひかる (邑楽・中野東小)
- 川原井那奈 (栃木・岩舟小)
- 法橋 唯 (栃木・三鴨小)
- 村山明日香 (伊勢崎・茂呂小)
- 横田菜々子 (足利・山辺小)
- 岩瀬 諒汰 (館林・第一小)
- 大木 颯斗 (佐野・犬伏小)
- 木元 貴之 (行田・荒木小)
- 染谷 真寛 (久喜・太田小)
- 竹石 智洋 (佐野・佐野小)
- 中嶋 竜悠 (下野・祇園小)
- 柳 和臣 (羽生・羽生南小)
- 松本 彩愛 (太田・鳥之郷小)
- 三田 美夢 (足利・南小)
- 本原 彩那 (小山・大谷北小)
- 加藤 大陽 (みどり・笠懸東小)
- 永田 理揮 (佐野・植野小)
- 中村 祐護 (作新学院小学部)
- 本田 宜徳 (足利・山前小)
- 南川 達紀 (館林・第一小)
- 高瀬 萌実 (小山・小山城北小)
- 鳥羽 典世 (館林・第三小)

- 江田 颯佑 (栃木・小野寺北小)
- 加藤 遥 (佐野・佐野小)
- 小暮 菜美 (板倉・西小)
- 中村 華 (佐野・植野小)
- 山口 乃愛 (加須・加須南小)

栃木県合唱連盟賞

合唱部

- 村山明日香
- 横井 瑠那 (佐野・佐野小)
- 鹿村 仁菜
- 柳川 由衣
- 高瀬 萌実
- 川島 鈴遥 (足利・南小)
- 小暮 菜美
- 中村 華
- 宮田 姫奈 (佐野・城北小)
- 向井 歩 (小山・小山城南小)
- 森 未来 (古河・駒込小)

栃木県中学校体育連盟体育運動優良生徒賞

- 山本陽菜乃 (足利・三重小)
- 鶴見 汐花 (壬生・壬生東小)

佐野市中学校体育連盟運動優秀生徒賞

- 卓球部 大畑進太郎 (練馬・大泉第二小)
- 水泳部 大倉 怜真

山本陽菜乃

今井 涼介 (久喜・本町小)

野球部

柳 和臣

堀口 雄生 (行田・桜ヶ丘小)

佐野市中学校体育連盟体育運動優良生徒賞

大倉 怜真
今井 涼介

佐野市中学校文化連盟文化活動優秀生徒賞

- 横田菜々子
- 南川 達紀

特別賞

南川 達紀

奨励賞

- 英語スピーチ 横田菜々子
- 馬術 鶴見 汐花

作文 中村 華

部活動功労賞

合唱部 村山明日香

- 横井 瑠那
- 鹿村 仁菜
- 高瀬 萌実
- 小暮 菜美
- 中村 華
- 宮田 姫奈
- 向井 歩
- 森 未来

美術部 高橋ひかり (太田・宝泉東小)

部活動努力賞

- 軟式野球部 岩崎 隼 (蓮田・蓮田中央小)
- 仙田 淳大 (栃木・岩舟小)
- 堀 雄太 (佐野・城北小)
- 岩瀬 諒汰
- 川田 尚生
- 永瀬 淳哉 (太田・尾島小)
- 柳 和臣
- 井上 鷹也 (小山・旭小)

部活動努力賞

- 軟式野球部 岩崎 隼 (蓮田・蓮田中央小)
- 仙田 淳大 (栃木・岩舟小)
- 堀 雄太 (佐野・城北小)
- 岩瀬 諒汰
- 川田 尚生
- 永瀬 淳哉 (太田・尾島小)
- 柳 和臣
- 井上 鷹也 (小山・旭小)

※なお、学年は前年度を記載しています。
学年表記のない生徒は3年生です。

水泳部

大倉 怜真

島田 賀衣(太田・葦川西小)

渡邊ララアツタチヤカ(久喜・久喜北小)

川原井那奈

樋口 文菜

山本 陽菜乃

染谷 真寛

毛塚 琴音(栃木・三鴨小)

中村 一輝(館林・第八小)

金子 瑞希(栃木・大平中央小)

今井 涼介

田中 銀河

菅谷 真由(下野・緑小)

山口 乃愛

ソフトテニス部(男子)

中嶋 竜悠

黒澤 光輝(太田・宝泉東小)

青木 翔星

佐々木 舜(栃木・吹上小)

大槻 桃子(太田・中央小)

杵淵 真優

法橋 唯

田中 和奈(足利・山前小)

三田 美夢

横山結羽菜(太田・九合小)

遠藤 樺乃

バスケットボール部(男子)

足立 洗龍(足利・久野小)

横山 仁(栃木・栃木第三小)

加藤 光志(佐野・城北小)

バスケットボール部(女子)

亀田 香(栃木・静和小)

芳賀 純香(太田・旭小)

榎本 史(佐野・植野小)

藤間 環(行田・桜ヶ丘小)

加藤 遥

サッカー部

蓮見 雅哉(大泉・北小)

鈴木 大智(佐野・飛駒小)

伊藤 一真(館林・第五小)

堀口 雄生

普光江一雅(太田・旭小)

鹿島神流武道部

松橋 楓(加須・北川辺西小)

ゴルフ部

田崎 鍊(筑西・関城東小)

卓球部

大畑進太郎

クリケット同好会

戸倉 崇之(足利・山辺小)

今井 俊希(久喜・本町小)

杉田恭一朗(加須・大桑小)

寺門おおら(小山・大谷北小)

永田 理揮

伏木珠華子(古河・古河第一小)

板垣 福寿(八潮・大原小)

合唱部

江田 颯佑

柳川 由衣

川島 鈴遥

美術部

松本 彩愛

管弦楽部

大川 俊輔

小川 穂高

和太鼓部

木元 貴之

竹石 智洋

加藤 大陽

永島 花恋(佐野・天明小)

佐藤 史章(杉戸・杉戸第二小)

SELC

横田菜々子

岩本 香帆(小山・小山第一小)

大澤 由佳

富澤 夢来(佐野・田沼小)

数学研究同好会

大木 颯斗

塩野谷 樹(足利・山前小)

書道同好会

今村 望華(行田・南河原小)

感謝状

渡邊ララアツタチヤカ

樋口 文菜

横田菜々子

今井 涼介

佐藤 史章

学校後援会 表彰

デジタル放映部

池亀 真紀(5年・佐野・戸奈良小)

小暮 清美(5年・大泉・北小)

田村 葵(5年・小山・小南城南小)

富田 千尋(5年・太田・鳥之郷小)

福持 弥穂(5年・小山・小山第三小)

本田 清香(5年・足利・山前小)

森下 冬桜(5年・佐野・赤見小)

川上 真穂(5年・熊谷・熊谷西小)

小林 海斗(5年・古河・上辺見小)

橋本 竜二(5年・足利・御厨小)

菅原由莉菜(5年・小山・乙女小)

三吉 悠伊(5年・古河・下辺見小)

霧見 優紗(5年・古河・駒込小)

伏木 寛貴(5年・古河・古河第二小)

小暮 大智(5年・太田・葦川西小)

山口 滋子(5年・春日部・小淵小)

渡辺 世界(5年・佐野・出流原小)

合唱部

長谷川美新(1年・栃木・三鴨小)

青木 智莉(1年・野木・新橋小)

遠藤 百恵(1年・結城・城南小)

青木 香苗(2年・開智小)

齊藤 純香(2年・栃木・栃木第四小)

新井 果那(2年・羽生・羽生南小)

田口ひなの(2年・さとえ学園小)

朝倉 寛恵(2年・さいたま・養壽小)

岩瀬 遥香(2年・太田・駒形小)

異文化生活の中で

恵川 士温(4年・ぐんま国際アカデミー初等部)

高校生初めての春休みに、私は第17回日本大学イースター・プログラムに参加しました。ケンブリッジ市内にあるペンブルック大学の学生寮を借わせてもらい、二週間弱大学生と同じ生活を送りました。研修中は現地での大学生であるプログラム・アシスタントの方々が様々なアクティビティを毎日用意していて、どれに参加しようか毎回悩んでいました。特に大学見学ツアーやパンテイングなど現地では体験できないものとはとても良い思い出になりました。もちろん授業もありましたが、日本のように机に向かって先生の話をひたすら聞くようなものではなく、劇をしたり、ゲームをしたりして歴史や文化について

この全てが違った環境での生活は驚きと発見の連続で、自分を大きく成長させてくれた貴重な体験となりました。



▲研修に参加した生徒たちと(前列左から3番目)

- 鬼形 唯生(2年・大泉・東小)
- 石川 未彩(2年・栃木・岩舟小)
- 森 ひなた(2年・小山・大谷北小)
- 横井 瑠那
- 鹿村 仁菜
- 森田 千尋(栃木・岩舟小)
- 高瀬 萌実
- 宮田 姫奈
- 向井 歩
- 森 未来
- 水泳部
- 小久保朱莉(1年・羽生・羽生南小)
- 書道同好会
- 石川 仁望(1年・栃木・大平西小)
- 馬術
- 鶴見 汐花
- 鶴見 柚葉(4年・壬生・壬生東小)
- 英検1級
- 山崎野百合(2年・上三川・明治小)
- 教職員表彰
- デジタル放映部顧問
- 安藤 昇 教諭

平成28年度 合格状況

卒業生
102名

東京外語大学他
国公立大学・大学校に

23名

日本
大学に

47名

難関私立
大学等に

157名

卒業生は、授業を中心とした学習に、各種セミナーや課外授業などに積極的に参加し、国公立大学等へ23名、日本大学へ47名、難関私立大学等へ157名、医歯薬獣医系学部へ53名という成果を収めた。

日本大学

学部	人数
法学部	8
文理学部	3
経済学部	3
商学部	2
芸術学部	2
国際関係学部	3
危機管理学部	3
医学部	1
歯学部	2
松戸歯学部	2
理工学部	2
生産工学部	6
工学部	2
生物資源科学部	3
薬学部	5
短期大学部(船橋)	1
医学部付属看護	1
合計	49

国公立大学

大学名	人数
東京外国語大学	1
茨城大学	2
宇都宮大学	2
帯広畜産大学	1
鹿児島大学	1
金沢大学	1
群馬大学	1
静岡大学	1
新潟大学	1
信州大学	1
弘前大学	1
福島大学	1
山形大学	1

首都大学東京	1
北九州市立大学	1
高崎経済大学	1
兵庫県立大学	1
前橋工科大学	1
合計	20

大学校

大学名	人数
防衛大学校(人文)	1
防衛大学校(理工)	2
合計	3

私立大学

大学名	人数
早稲田大学	2
慶應義塾大学	2
上智大学	1
東京理科大学	2
学習院大学	4
明治大学	4
青山学院大学	3
立教大学	6
中央大学	5
法政大学	5
立命館大学	2
津田塾大学	5
学習院女子大学	3
日本女子大学	3
東京女子大学	1
昭和女子大学	1
聖心女子大学	1
白百合女子大学	1
清泉女子大学	2
女子栄養大学	1

明治学院大学	2
芝浦工業大学	4
東洋大学	6
専修大学	3
成城大学	5
文教大学	1
獨協大学	3
東京電機大学	4
帝京大学	3
帝京平成大学	1
武蔵野大学	2
関東学院大学	1
東海大学	2
順天堂大学	1
共栄大学	1
日本体育大学	1
国学院大学	2
国士舘大学	1
東京工科大学	1
東邦大学	2
成蹊大学	1
東京農業大学	3
目白大学	1
神奈川大学	1
西南学院大学	1
足利工業大学	1
共立女子大学	1
大阪商業大学	1
岩手医科大学(医)	1
大阪医科大学(医)	1
川崎医科大学(医)	1
久留米大学(医)	1
埼玉医科大学(医)	1
獨協医科大学(医)	2
杏林大学(救急救命)	1

明海大学(歯)	1
神奈川歯科大学(歯)	1
北里大学(薬)	1
星薬科大学	4
明治薬科大学	3
昭和薬科大学	2
東京薬科大学	2
横浜薬科大学	1
城西大学(薬)	5
帝京大学(薬)	3
高崎健康福祉大学(薬)	1
順天堂大学(看護)	1
自治医科大学(看護)	1
日本医療科学大学(看護)	2
桐生大学(看護)	1
秀明大学(看護)	1
足利工業大学(看護)	1
目白大学(看護)	2
神奈川工科大学(看護)	1
淑徳大学(看護)	2
東京有明医療大学(看護)	1
北里大学(獣医)	1
麻布大学(獣医)	1
合計	157

※ 過年度卒業生を含む

短期大学

大学名	人数
佐野短期大学	2

専門学校

学校名	人数
神田外語学院	1
千葉市青葉看護専門学校	1
東京IT会計法律専門学校	1
獨協医科大学看護専門学校	1

卒業生合格体験談

去る3月18日(土)、恒例の卒業生合格体験談が行われた。新年度から後期課程となる3年生からいよいよ受験生となる5年生までの3学年が体育館に集合し、先輩方の体験談に聞き入った。

全体会では、卒業生を代表して稲森健二さん(早稲田大学)、原祐喜さん(金沢大学)、石井雄大さん(立教大

行事予定

- 1日(月) 学園創立記念日
- 8日(月) 国内短期研修2年(10日)
- 16日(火) PTA定期総会
- 19日(金) 佐野市市体連(20日)
- 26日(金) イギリス研修旅行
- 27日(土) 2年A班(6月3日まで)
- 27日(土) イギリス研修旅行
- 29日(月) 1年B班(6月4日まで)
- 29日(月) 前期中間試験(31日まで)
- 6日(火) 古典芸能鑑賞会(5年)
- 16日(金) マレシヤフィールドワーク(23日)
- 18日(日) 定期演奏会
- 24日(土) 頭桜祭 文化祭
- 25日(日) 頭桜祭 体育祭
- 7月 夏季支部懇談会
- 8日(土) 北京月壇中学校(19日)
- 14日(金) 全校集会
- 19日(水) 夏休み開始(8月24日)
- 20日(木)

新たな制服の新生ととも
に、本校も新たなスタートを
迎えた。輝く笑顔も眩しい季
節である。(長谷川記)

編集後記



▲ 講演される稲森さん

分科会ではさらに多くの先
輩方が講師となって学年やク
ラスに分かれて話をした。体
験談や質疑応答などで盛り上
がり、受験を見通した今後の
生活のあり方を考えることが
できた。

卒業生のみならず、ありが
とうございました。